



聖母ニュース



編集・発行
社会福祉法人聖母会聖母病院
〒161-8521
東京都 新宿区 中落合2-5-1
TEL03-3951-1111
<https://www.seibokai.or.jp>



暁星小学校 聖歌隊



合唱団 ふきのとう



職員有志



日時 令和8年7月17日(金) 午後4時
場所 聖母病院 大聖堂



暁星小学・中学・高等学校 合同

◆理 念◆

愛をもって病める人を癒されたキリストにならい、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う医療を提供して病める人々の身体的、精神的、社会的、霊的ニーズをみとめる。

◆基本方針◆

1. 生命を尊重し、最善の医療をおこないます。
2. 地域医療機関および福祉施設等と連携し、安心できる医療をおこないます。
3. 病院の理念に基づいて質の高い医療人を育成します。

◆患者の権利と責務◆

患者の皆さまには次の権利が保障されています

1. 平等かつ適切な医療を受けられます。
2. 人権が尊重されます。
3. 病気、治療について十分な説明が受けられます。
4. 医療内容を選択または拒否できます。
5. 個人情報やプライバシーが守られます。
6. セカンドオピニオンを求めることができます。

患者の皆さまへのお願い

1. 適切な医療を受けるために、健康(病状)に関する情報を正しくお知らせください。
2. 医療行為に関して納得したうえで意思を明らかにし、指示に従ってください。
3. お互いによりよい治療と療養生活を送るために、定められた規則を守ってください。

聖書のことば

平和を実現する人々は、幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。(マタイ5:9)

Blessed are the peacemakers, for they
shall be called children of God.
(Matthew 5:9)

変わりゆく子育て

小児科部長 前田由美

聖母病院で小児科医として働きはじめて約25年。最近では以前小児科で診察していた子どもが親になった姿で赤ちゃんを連れて受診することしばしば。うれしいかぎりです。

長くこの仕事を続けていると、ずいぶん昔と変わったなあと感じるものがたくさんあります。例えば、赤ちゃんの1か月健診です。以前はお母さんとおばあちゃんが赤ちゃんを連れてくるのが多かったのですが、最近はおばあちゃんの姿は少なくなり、新米お父さんとお母さんの組み合わせが増えました。お父さんの育児取得が増え、喜ばしいことに新生児時期から育児に積極的に参戦です。当時は、沐浴後のさ湯や果汁の指導していましたが、育児もエビデンスありき、昔の指導は消えてゆきました。現在は新米お父さんとお母さんがAIに相談しま

したがるのでしょうかと聞いてきます。時代の流れを感じるとともに、おばあちゃんの知恵があった育児が懐かしく思えます。

外来で待っている親子の様子も変わりました。絵本の読み聞かせや手遊びをするのではなく、子どもがスマートフォンで動画やゲームをする姿が多くみられます。もちろん親御さんもスマホです。確かに静かに待っていられるのですが、スマホに頼りすぎているのは将来が心配になります。もう少し工夫して親子のコミュニケーションを取る時間に変えてほしいと願います。

「先生、時代が変わったんだからね」という声がどこからか聞こえてきそうですが、やはり変えるべきでない子育てでもあると信じ、これからも声をかけ続けたいと思います。

187号の内容

変わりゆく子育て	1	聖母病院草創期の物語 第3回	3
産婦人科通信 第1回	2	着任医師紹介	3
乳腺外科通信 第1回	2	外来診察表	4



更年期こそ『自分をほめながら』 体を動かしてみませんか？

部長 山内美和

『最近、疲れやすい』『気分が揚がらない』『立ち上がろうとしたらよろけちゃった』など、更年期を迎えると体や心に様々な変化が現れます。

そんな時期だからこそ、おすすめしたいのが『自分をほめながら行うエクササイズ』です。

ウォーキングやストレッチなどの適度な運動には、血流をよくしたり、自立神経を整えたりする効果があります。また、気分転換になり、ストレスの軽減にも役立ちます。さらに最近では、運動に加えて自分自身に前向きな言葉をかけることが、心の健康にもよい影響を与えると考えられています。

難しい運動やハードな運動はいりません。欲張りは禁物です。通勤をいつもより速足で歩いてみるとか、7分ダンスエクササイズとか、10分間のストレッチからはじめましょう。さぼったら、「いつも頑張っているから、気にしない気にしない」。毎日の積み重ねが「塵も積もれば山となる」の

だと楽天的に考え、再開です。

また、運動を始めた自分をたくさん褒めていきましょう。更年期は自分に優しくする時間が必要です。これまで、家族や仕事のために頑張ってきた自分の心と体をいたわる時期でもあります。エクササイズの時に声を出して、自分をほめてあげましょう。

私自身は、室内エクササイズを行っています。全天候に影響なく、費用もかからず、好きな時にできるメリットがあります。YouTubeでお気に入りのチャンネルの画面を流しながらのエクササイズで、日々のストレス発散および体力の低下を食い止めています。『キックボクシングエクササイズ』これ、ストレス解消になりますよ(笑)。

みなさんもエクササイズを始めて『推しのおすすめチャンネル』ができれば是非、教えてください。お友達同士などで情報共有しながら、一緒に、前向きで楽しく健康な生活をしましょう。

室内で簡単ストレッチ



乳がん検診の 画像検査について

医長 菊山みずほ

乳がん検診の目的は早期発見による乳がんで亡くなる方を減らすことで、その効果が証明されている検査はマンモグラフィです。超音波検査はマンモグラフィと併用で乳がんの発見率が上がることが報告されており、人間ドックや自費検診では超音波による乳がん検診もおこなわれています。今回は最近注目されている検査方法について解説します。

○ 3Dマンモグラフィ

乳房の密度が高い『高濃度乳房』においては、通常のマンモグラフィでは病変を見つけることが難しいことがあります。



3Dマンモグラフィは乳房のスライス画像を再構築し、乳腺の重なりを減らすことで診断能力を高める技術です。通常のマンモグラフィ単独に比べて3Dマンモグラフィの方ががんの検

出率が高く、不要な再検査の可能性が減ることが示されています。一方で、3Dマンモグラフィは被爆が増加します。また、乳がんで亡くなる方を減らす効果や進行がんを減らすことができるかは明らかではありません。

当院では2018年に導入しており、外来検査では3Dマンモグラフィを実施しています。一部の人間ドックや個人検診では3Dマンモグラフィを選択することができます。

○ 非造影MRI

造影剤を使ったMRIは診断能力が高く、精密検査や乳がんのリスクが高い方の検診として用いられていますが、造影剤の副作用や費用の面から一般的な検診に用いることは難しいとされてきました。

最近では痛くない乳がん検診として造影剤を使わない非造影MRIが注目されています。ガイドライン上、検診としてすすめられる根拠が不足していること、撮影方法が定まっていないことから、当院では検診としての非造影MRIは行っていません。しかし、マンモグラフィと比べて診断能力が高く、被爆もないことから、検診方法の1つになる可能性があります。

どの検査でも乳がんを100%みつけれられるわけではありませんが、自覚症状がなくても定期的な乳がん検診をおすすめします。

皮膚泌尿器科と物療 X 線科

小児科 猪野雅孝

国際聖母病院は1931年(昭和6年)12月21日に、フランシスコの精神のもとに、「善きサマリア人」の理想を掲げて診療を開始しました。当時の診療科は内科、小児科、外科、皮膚泌尿器科、物療X線科の5科でした。あまり馴染みのない「皮膚泌尿器科」と「物療X線科」とはいったいどのような診療科だったのでしょうか。

当時は皮膚科と泌尿器科は同一の診療科であることがほとんどで、大学でも独立した皮膚科や泌尿器科の講座があるところは極めてまれでした。かつて泌尿器科と皮膚科が一緒であったのは、当時対象とする病気の中で性感染、なかでも梅毒の占める割合が大きかったためと考えられます。大学によっては皮膚科学黴毒(ばいどく)学教室(東京大学)、皮膚病花柳病学教室(金沢大学)と称していました。国際聖母病院の初代皮膚泌尿器科医長として、宮田重雄(1900-1971)が就任しました。宮田重雄は1900年(明治33年)、愛知県名古屋市の13代続いた医師の家に生まれました。愛知第一中学を経て、慶應義塾大学医学部を1925年(大正14年)に卒業後、1927年(昭和2年)からパリ・パスツール研究所に留学、1930年(昭和5年)に帰国しています。愛知一中時代から絵を描きはじめ、大学在学中から展覧会に出展し、卒業後は洋画家梅原龍三郎に師事し、国画会展に数多くの作品を出展する画家でもありました。

宮田重雄は1933年(昭和8年)に国際聖母病院を退職し、中島飛行機製作所田無病院に勤務しました。その後軍医として満州等に派遣されたのち、田無病院長を務める一方、戦後は獅子文六の新聞連載小説の挿絵を多く手がけたり、NHKラジオ『二十の扉』のレギュラー出演者、映画『石中先生行状記』の主演を務めたりと多方面に活躍しました。宮田重雄が慶應義塾大学在籍中の細菌学教授は梅毒研究の第一人者である秦佐八郎であり、留学先のフランスのパスツール研究所では血清反応の研



パリ留学中の宮田重雄
(1928年前後)

究をしていたことから、国際聖母病院でも梅毒治療に携わっていたことは間違いのないと思われます。なお、聖母病院退職の理由は、患者がいなかったために病院側の事情で辞めていただいたと伝えられています。

「物療X線科」については資料が乏しく、類推するしかありません。類似した診療科名としては、「理学的診療科」「物療内科」「レントゲン科」などがあります。慶應義塾大学医学部が1920年(大正9年)に創設されると同時に、理学的診療科が設けられました。理学的診療科は、放射線医学の他、光線療法、温熱療法、温泉療法、マッサージなどを含む幅広い領域を担当する診療科でした。1926年(大正15年)には東京帝国大学に内科物理療法学教室(物療内科)が開設され、内科治療にエックス線・ラジウム鉱泉・電気治療などが導入されました。慈恵会医科大学ではそれまでのレントゲン科を基にして1932年(昭和7年)に物療学教室が開設されました。

国際聖母病院の1階には「X光線室」と「電療光線室」が設けられていました。国際聖母病院の創立前後にフランスから輸入された医療機器の品目リストなかに、「レントゲン発生装置」「透視装置」「アルミニウム管」「ケノトン(X線管などの超高圧整流用の真空管)」「整流器」「管球保持器」などの名称があります。物療X線科とはフランスから輸入した機器を用いて、X線(レントゲン)検査と光線療法などの物理療法を行う診療科であったと考えられます。

国際聖母病院の1階には「X光線室」と「電療光線室」が設けられていました。国際聖母病院の創立前後にフランスから輸入された医療機器の品目リストなかに、「レントゲン発生装置」「透視装置」「アルミニウム管」「ケノトン(X線管などの超高圧整流用の真空管)」「整流器」「管球保持器」などの名称があります。物療X線科とはフランスから輸入した機器を用いて、X線(レントゲン)検査と光線療法などの物理療法を行う診療科であったと考えられます。

着任医師紹介

① 出身地 ② 卒業大学、卒業年度 ③ 専門 ④ 聖母病院の印象 ⑤ 今後の抱負 ⑥ 患者さんへ一言

いとう よしあき
伊藤 慈晃 医師



- ① 愛知県
- ② 帝京大学 2019年度卒
- ③ 一般眼科
- ④ 母校がキリスト教系の学校だったこともあり、こちらの病院が持つ温かく穏やかな雰囲気にとこか懐かしさを感じています。患者さんに寄り添った温かみのある病院という印象を受けました。
- ⑤ 地域の皆様に、安心して受診いただけるよう努めてまいります。
- ⑥ 受診される患者さんに寄り添った医療を提供するよう、心がけてまいります。何かございましたらお気軽にご相談ください。

てらかど ひとみ
寺門 瞳 医師



- ① 埼玉県
- ② 日本大学 2007年度卒
- ③ 麻酔科
- ④ 地域に根ざした温かい雰囲気の病院だと感じました。
- ⑤ 1つ1つの経験を大切にしながら、皆さまのお役に立てるよう努めてまいります
- ⑥ 患者さんの気持ちに寄り添い、安心して麻酔を受けていただけるよう心がけます。

外来診察表

◇お知らせ◇ 当院は原則予約制です。ご予約のない患者さまは、お待ちいただく時間が長くなる可能性あることをご承知ください。

(令和8年 8. 1～)

			月	火	水	木	金	土（第3週休診）
内 科	午前診療	①	濱松 永昌	宮本 大介	富澤 学之	宮本 大介	濱松 永昌	宮本 大介
		②	予 約 外	予 約 外	予 約 外	予 約 外	予 約 外	市瀬 裕一
		③	富澤 学之	市瀬 裕一	北濱真理子	井上理紗子		井上理紗子
		④	増田佳奈子	井上理紗子	総合診療科	高林英日己	佐々木順子	芹川直輝／稲垣裕介
		⑤	庫川 恵理	川崎 麻紀	庫川 恵理	井上ゆか子	井田真規子(10:00～13:00)	庫川 恵理
		⑥	藤井 大輔	増田佳奈子	玉置 博之	藤井 大輔		
	午後診療	①	濱松 永昌	川崎 麻紀	玉置 博之	予防接種外来	濱松 永昌	
		②	宮本 大介	北濱真理子	増田佳奈子		大河内達太郎(神経内科)	
		③		砂金瑛実(神経内科)	北原 愛弓		宮本大介(13:30～)	
		④		高林英日己		総合診療科	総合診療科	
総合診療科 （院内標榜）		午 前			南郷 栄秀			
		午 後				南郷 栄秀	田中 祥子	
内 視 鏡	午 前		鈴木辰典(内科)	高林英日己(内科) 安永浩基(内科)	高林英日己(内科) 濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	飯岡愛子(外科)	井上幸紀(外科)
	午 後		第1.3.5 高林英日己(内科)	第2.4 交代制(JOHO東京 新宿メディカルセンター)	高林英日己(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	高林英日己(内科) 田中敏明(外科)	
外 科	午 前		井上 幸紀	井上 幸紀	松延修一郎	田中 敏明	井上 幸紀	田中 敏明
乳腺外科	午 前		加藤 昌弘	菊山みずほ(リンパ浮腫)	菊山みずほ	菊山みずほ		菊山みずほ
	午 後			神野浩光/岩瀬 哲				
泌尿器科	午 後		勝井 政博			勝井 政博		
整形外科	午前	①	小川政明(股関節)	橋本健史(足の外科)	小川政明(股関節)	第1.3 村越 薫/第2.4.5 土岐尋江	三箇島吉統(膝関節)	交 代 制
		②	小林 亜里	小林 亜里	土岐 尋江	小林 亜里		
		③	土岐 尋江	藤井 武(脊椎外科)				
		午 後		宮本英明(手の外科) 14:00～15:30(予約のみ)				
産婦人科	午前	初 診	兼子 絢華	第1.3.5 戸田里実 第2.4 久保川慎子	山内 美和	増澤 利秀	久保川慎子	宮越 敬
		再 診	山内 潤	山内 潤	増澤 利秀	山内 潤	宮越 敬(10:30～)	増澤 利秀
			山内 美和	宮越 敬		山内 美和	戸田 里実	戸田 里実(～12:30)
			午後診療			戸田 里実	兼子 絢華	
					宮越 敬(胎児診断外来)	片岡丈夫(腫瘍外来)		
小 児 科	①		江崎奈緒子	岩丸 良子	江崎奈緒子	大塚 素子	江崎奈緒子	大塚 素子
	②		前田 由美	前田 由美	第1.3.5 前田由美 第2.4 山中聡子	前田 由美	高橋 美希	前田 由美
	③		山中 聡子			第3除く 岩丸良子(神経) 第3 松井順子(神経)		松井順子／(第1.5)非常勤
	④			江崎奈緒子(予防接種)	第2.4 前田由美	高橋美希(予防接種)	大塚素子(予防接種)	
	乳幼児健診			大塚 素子	第1.3.5 猪野雅孝	猪野雅孝(BCG)	岩丸 良子	
	1か月健診		猪野 雅孝	大塚 素子	猪野 雅孝	前田 由美	岩丸 良子	
			前田 由美	岩丸 良子	山中 聡子	大塚 素子	高橋 美希	
	専門外来		江崎奈緒子		高橋 美希			
			猪野雅孝(新生児フォローアップ) 第2月除く／島田衣里子(心臓) 予約／江崎奈緒子(SLIT)	前田由美(アレルギー) 大塚素子(夜尿症) 予約／岩丸良子	前田由美(アレルギー) 山中聡子(新生児フォローアップ)	予約／岩丸良子	江崎奈緒子(アレルギー-SLIT) 予約／大塚素子 岩丸良子(予防接種) 高橋美希(予防接種)	
精 神 科			滝上 紘之	櫻井 昭彦	滝上 紘之	滝上 紘之	滝上 紘之	滝上 紘之
耳 鼻 咽喉科	午 前		中川 秀樹	中川 秀樹	不定期／中川秀樹	齋藤康一郎	中川 秀樹	中川 秀樹
	専門外来		大石 直樹				交代制(慶應大・杏林大)	
眼 科	午 前		音声・嚥下外来	音声・言語外来		音声外来		
	専門外来		伊藤 慈晃 太根 ゆさ	伊藤 慈晃	伊藤 慈晃 河井 明佳	伊藤 慈晃 落合 淳一	海田 千恵 長谷川 二三代	第1.5 伊藤慈晃 第2 戸ヶ崎英理奈／第4 非常勤
皮 膚 科	午前	1 診	辻 麗生	辻 麗生	小林里実(辻 麗生)	石河杏奈(交代制) 辻 麗生(交代制)	石河 杏奈	辻 麗生
		2 診	石河 杏奈	石河 杏奈	矢作 美奈	西山有希子	西山有希子	石河 杏奈
		予約外来	川上 理子	小林 里実	川上 理子	特殊治療／小林里実	レーザー・一般／松浦功一	第1 吉田 傑／第2.4 近藤明里
	午後	専門外来	小児皮膚科・小児レーザー／ 第1.3.5川上理子 第2.4松浦功一 掌跖膿疱症性骨関節炎／ 石原陽子(整形)	乾癬・掌跖膿疱症・小児レ ーザー／小林里実 ピーリング／ 石河杏奈 辻 麗生	第2.4 小児皮膚科・ 小児レーザー／川上理子 乾癬・掌跖膿疱症／ 小林里実	手術／小林里実 石河杏奈 辻 麗生	乾癬・掌跖膿疱症／ 第2.4 小林里実 光線・学童／石河杏奈	
			光線・学童／辻 麗生		光線・学童／矢作美奈			

* 休診日：日曜、祝祭日、第3土曜日、クリスマス (12月25日)、年末年始 (12月30日～1月3日)

予約センターについて

代表電話からはお繋ぎする事ができません。

全科診療予約については、予約センターにて受付致します。下記時間内に直通電話にてご連絡をお願い致します。

予約受付時間	平 日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～12:30(第3土曜日除く)
予約センター電話番号	03-6908-1717	

※産婦人科・乳腺外科以外の科は、当日予約は受け付けておりません。
※検査の予約変更・キャンセルについて、医療上のご質問がある場合は各科外来へご連絡ください。
※診療状況によりご希望の日程で予約が取れない場合がありますが、予めご了承ください。

編集後記

夏祭りの屋台が並び、夜空を彩る花火や風鈴の音に心が弾む季節になりました。一方で、猛暑や突然のゲリラ豪雨など、夏を取り巻く環境は年々変化しています。昔のように「夏は楽しい季節」と一言では語れません。体調管理や安全への配慮を忘れず、無理なく楽しむ工夫をしながら、今年も心に残るひとときを過ごしたいものです。 T.O